

# 家計急変者

## 簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用) 記入例(表面)

→できる限り直近の収入の減少についてご記入ください。

①

新型コロナウイルスの影響により家計が急変し、収入が児童扶養手当の受給水準まで減少した方が申請できます。

【例】勤務先の休業等による給料の減少、学校休業のため子供の世話をすることが必要となり労働時間が減少した...など

### 簡易な収入見込額の申立書 (申請者本人用) 【家計急変者】

②

○「子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)【家計急変者用】」と一緒にご提出ください  
○下記にある【要件1】及び【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。  
※申請者と生計を同じくする扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

①下記にチェック(☑)してください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

※申請者または申請者と同一住所にお住いの以下の方が新型コロナウイルス感染拡大の影響で、収入が減少した場合にチェックしてください。  
・申請者の配偶者  
・申請者の父母、祖父母、子、孫などの直系血族または兄弟姉妹  
(※)申請者本人が児童の父または母の場合は、これの方が申請者と同居していることが原則となります。  
※上記の申請者と同一住所にお住いの方がいる場合は、「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」も併せてご提出ください。

②申請者の令和2年2月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和4年2月		円	注意事項
養育費【A】	50,000	000	円 ※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
給与収入【B】	250,000	000	円 ※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【C】	50,000	000	円 ※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金相当収入【D】(a-b)	0	0	円 ※年金収入【a】-児童扶養手当相当額【b】で計算した額をご記入ください。
年金収入【a】	0	0	円 ※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
児童扶養手当相当額【b】	0	0	円 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。
収入合計額【A+B+C+D】	350,000	000	円 ※収入額の合計額(【A】+【B】+【C】+【D】)をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表(月額)

申請日時点での児童数	支給額(月額)
児童0人	0円
児童1人	10,160円
児童2人	15,250円
児童3人	18,300円
児童4人	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに3,050円(月額)を加算してください。

収入合計額を12倍した金額を③へ記入してください。12倍することで年間収入見込額が算出されます。

※記入例の場合...  
350,000円 × 12か月 = 4,200,000円

③の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額 4,200,000円

収入が1人の場合には、③が365万円未満であれば【要件2】を満たすため、④の記載は不要です。

(次ページに続きます)

養育費がある場合はできる限り直近で実際に受けた金額の1か月分ご記入ください。

給与収入がある場合は、できる限り直近で新型コロナウイルスの影響により収入が減少した任意の1か月分について、給与明細書等を参考に記入してください。

該当する収入がある場合は、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した任意の1か月分について、記入してください。

年金収入がある場合に記入が必要です。該当がある場合は右欄の「注意事項」を参考にご記入ください。「児童扶養手当相当額【b】」については下の「児童扶養手当相当額早見表【月額】」を確認してご記入ください。年金を受給していない場合は【D】に「0」と記入してください。

【A】+【B】+【C】+【D】の合計を記入。こちらの金額が任意の1か月の収入額となります。

※記入例の場合...  
【A】50,000円 + 【B】250,000円 + 【C】50,000円 + 【D】0円 = 350,000円

※裏面最後の【確認事項】は必ず氏名、日付等のご記入が必要です。

# 家計急変者

## 簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用) 記入例(裏面)

→できる限り直近の収入の減少についてご記入ください。

申請者の該当する属性にチェックを入れてください。

④要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。

属性	<input checked="" type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 父母以外の養育者
	↓	↓
	収入基準A	収入基準B

以下のいずれかに該当する児童の養育者ですか。  
 ・父が死亡または生死不明かつ母がない児童  
 ・母が死亡または生死不明かつ父がない児童  
 ・母がなく、かつ、父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童  
 ・母が婚姻によらないで懐胎した児童であつて、母が死亡したものまたは母の生死が明らかでないもの  
 ・父がなく、かつ母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童  
 ・父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童  
 ・母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童

NO → 収入基準A  
 YES → 収入基準B

「収入基準B」は対象児童が孤児などの場合に該当します。上のチェックした属性が「父母以外の養育者」の方でもほとんどの場合が「収入基準A」に該当します。

(2) 申請者が生計を同じくし養っている親族または養っている親族以外の児童の氏名をご記入ください。【☆】

収入基準Aの方			収入基準Bの方	
フリガナ	氏名	該当する場合は◎または 16歳以上23歳未満の親族 (◎) 70歳以上の親族、配偶者 (○)	フリガナ	氏名
	トキョウ アキコ 東京 秋子	◎		
	トキョウ タロウ 東京 太郎			

(2)には申請者が養っている親族等の氏名をご記入ください。記入した人数を下の(3)にチェックを入れてください。右の年齢に該当する方がいれば◎や○を記入してください。

※記入例の場合は2名を記載しているので(3)には「2人」のところにチェックを入れます。

(3) (2)でご記入いただいた方の人数にチェックをしてください。

(2)の人数にチェックしてください。		収入基準額
<input checked="" type="checkbox"/>	人数	
<input type="checkbox"/>	0人	3,114,000円
<input type="checkbox"/>	1人	3,650,000円
<input checked="" type="checkbox"/>	2人	4,125,000円
<input type="checkbox"/>	3人	4,600,000円
<input type="checkbox"/>	4人	5,075,000円
<input type="checkbox"/>	5人	5,550,000円
<input type="checkbox"/>	人	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(3)でチェックした人数の基準額をiに記入してください。

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i (3)で選択した基準額	4,125,000円	
ii (2)の◎の数×150,000円	150,000円	
iii (2)の○の数×100,000円	0円	
収入基準額 (i + ii + iii)	4,275,000円	
	∇	
年間収入見込額 (表面の③)	4,200,000円	

→【要件2】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。

(2)で◎や○に該当する方がいればiiやiiiの記入が必要です。

i + ii + iiiの合計を記入してください。

表面の③の金額を記入してください。上の収入基準額より低いか確認してください。

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れて頂き、氏名をご記入ください。)

【要件】に該当します。
  収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。

今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。

本申立の内容に相違ありません。

東京 春子

こちらの【確認事項】の全部にチェックを記入して日付と氏名を必ずご記入ください。